

平成27年度・生徒の学力に関する調査についての結果と分析

1. 平成27年度

「全国学力・学習状況調査」(第3学年対象) 結果(正答率) 4/21(火)

	A 主として知識			B 主として活用		
	学園中	東京都	全国	学園中	東京都	全国
国語	71.0%	77.2%	75.8%	60.7%	67.0%	66.8%
数学	59.5%	66.3%	64.4%	37.3%	44.0%	41.6%
理科	42.2%	52.6%	53.0%			

2. 平成27年度

「練馬区立中学校学力調査」(第3学年対象) 結果(正答率) 6/3(水)

	学園中	練馬区	全国
社会	52.4%	52.8%	55.1%
英語	64.0%	71.0%	66.0%

3. 平成27年度・各学力調査についての分析

	教科名	分析（身につけている力・課題等）	改善策・取り組み
3 年 全 国	国語	具体的表現については、文章問題でも読み取れ、理解も高く書く表現力もある。しかし、抽象的表現になると、読み取ることが困難となり、解答率も著しく低下する。	日頃から、抽象的表現を用いた文章の読みを深めると共に、そこから考えたことを発表させる等、読み取りから表現することにつなげていける発問の工夫をする。
	数学	簡単な計算処理能力は身につけている。問題の文章をしっかりと読み取ることや自分の考えを表現することに課題がある。	問題の文章をしっかりと読む時間を確保する。問題集やワークシートで基礎基本を反復させる。発言や発表の機会を増やす。
	理科	知識を覚え、感覚的に解釈することはできていることも多い。数値やグラフを分析し、規則性を見出し、それを文章で表現することには課題がある。計算については依然として課題がある。	日常生活の中の科学の規則性や法則性の活用を理解させる場面を設定する。観察実験を通して、データの分析の仕方、仮説の立て方、結論を導き出す過程をしっかりと取り入れる。
3 年 練 馬 区	社会	理解したことを元にして、世界地図から日本の位置を読み取ったり、地形図から高度を読み取ったりすることには課題がある。歴史的分野の近世の日本や近代の日本と世界については、比較的よく理解している。	日本の位置を世界地図の上で大観させるとともに、世界の諸地域を学習しながら常に日本との位置関係を把握させて学習する。また、身近な地域の調査では、方位・縮尺・等高線・地図記号を理解させた上で、地形図の読み取りに時間をかける。
	英語	聞き取りによる内容理解、長文の読み取りは比較的できているが、単語の並べ替えによる英作文、記述による英作文は課題がある。	物事に対する自分の考えをしっかりと持つとともに、綴りのミスや文法的な誤りに気を配りながら、ある程度の量を英語で表現できる力を毎回の取り組みで入れていく。